

発行日 : 2006-01-25
改訂日 : 2022-05-20

SDS番号 : 16-0005-JP
版番号 : 03

1. 化学品及び会社情報

製品名 CP-16II

製品コード 5167B

供給者の会社名称 キヤノンマーケティングジャパン株式会社

住所 〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

担当部門 製品安全推進担当

電話番号 03-5719-9729

製造者 佳能電産香港有限公司
17F Tower One, Ever Gain Plaza, 82-100 Container Port Road, Kwai Chung, New Territories, Hong Kong

推奨用途及び使用上の制限 プリンタ付き電卓用インクローラー

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類されない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報 なし

注意書き なし

他の危険有害性 なし

3. 組成及び成分情報

単一製品又は混合物の区分 混合物

成分

青インク

化学名	濃度又は濃度範囲 (重量%)	化学特性 (分子式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
有機顔料	1 - 2	C34H22Cl2N4O2	(5)-3292	6358-30-1
エステル油A	10 - 12	-	(2)-669	73398-61-5
エステル油B	1 - 3	C66H120O13	(8)-63	8007-43-0
染料	8 - 12	C33H41N3O	(5)-3118	1325-86-6
脂肪酸	47 - 52	C18H36O2	(2)-608	30399-84-9

ロール

化学名	濃度又は濃度範囲 (重量%)	化学特性 (分子式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
NBR	17 - 22	-	(6)-454	9003-18-3
カーボンブラック	5 - 8	-	対象外	1333-86-4

CBI: 営業秘密

労働安全衛生法 通知対象物質 : カーボンブラック(政令番号 130)
酸化亜鉛 (政令番号 188)

4. 応急措置

吸入した場合	症状が生じるならば、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	すぐに石鹼と大量の水で洗浄する。症状が生じるならば、医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	十分な量の水で洗い流す。症状が生じるならば、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。コップ1、2杯の水を飲む。症状が生じるならば、医師の手当てを受ける。
最も重要な徴候症状	
吸入	なし
皮膚	なし
眼	なし
経口	なし
慢性影響	なし
応急措置をする者の保護	なし

5. 火災時の措置

消火剤	水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂等
使ってはならない消火剤	なし
特有の危険有害性	なし
消火を行う者の保護	火災により一酸化炭素等の有毒ガスや煙霧が発生するので、消火作業の際は適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	ゴムロールに含浸されており、常温で固体の為、該当しない。
環境に対する注意事項	ゴムロールに含浸されており、常温で固体の為、該当しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 インクで汚れた場合は紙や布で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 一般的な可燃物の取扱いによる。
安全取扱注意事項 品質保護のため、製品破損につながる強い衝撃は避ける。

保管

安全な保管条件 火気から遠ざけての保管等、一般的注意が必要。製品の品質を保つため、保管条件は常温常湿とする。
安全な容器包装材料 なし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

この製品は職業ばく露限界値が設定されている成分を含有していない。

設備対策

ゴムロールに含浸されており、常温で固体の為、該当しない。

保護具

呼吸用保護具 通常の取扱いにおいては、不要。
手の保護具 通常の取扱いにおいては、不要。
眼の保護具 通常の取扱いにおいては、不要。
皮膚及び身体の保護具 特に必要としないが、インクの付着を防ぐためにはナイロン手袋の装着が良い。

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色) インクを含浸したロール状固体、青色
臭い なし
臭いのしきい(閾)値 データなし
pH データなし
融点・凝固点 (°C) データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲 (°C) > 200
引火点 (°C) 184 (クリーブランド開放式)
蒸発速度 データなし
可燃性 データなし
爆発範囲 データなし
蒸気圧 データなし
蒸気密度 データなし
比重(密度) 約1.0
溶解度
水溶性 難溶
脂溶性 データなし
n-オクタノール/水分係数 データなし

自然発火温度 (°C)	データなし
分解温度 (°C)	データなし
動粘性率 (mm ² /s)	データなし
その他のデータ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	なし
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	一般的な貯蔵・取り扱いにおいては無い。
避けるべき条件	なし
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	LD ₅₀ >2,000mg/kg (OECD Guideline)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	P.D.I.I.=1.4, mild irritant (OECD Guideline)
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚感作率:10% ; GHS分類において感作性に分類されない (OECD Guideline)
生殖細胞変異原性	Ames試験 : 陰性
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	データなし
特定標的臓器毒性、反復ばく露	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
その他の情報	なし

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし

土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄は地域、国や地方自治体の適切な法律や条例に従って廃棄する。外部に委託する場合は、内容を明確にしたうえで、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
特別な注意事項	なし
MARPOL	該当しない
国内規制がある場合の規制情報	消防法 危険物 第4類引火性液体 第3石油類に該当するインクを使用。

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9)

カーボンブラック (政令番号 130)

酸化亜鉛 (政令番号 188)

名称等を表示すべき危険物及び有害物

(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9)

カーボンブラック

ただしフォームロールは固形物であり、運搬及び貯蔵中腐食性を有しないため表示義務の適用除外となります。

化学物質排出把握管理促進法(化管法) 第一種/第二種指定化学物質

該当しない

毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物

該当しない

消防法 危険物及び指定可燃物

第4類引火性液体 第3石油類に該当するインクを使用。

16. その他の情報

参照規格

本安全データシート(SDS)は、JIS Z 7253：2019(GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS))に準じたものである。

また、GHS分類はJIS Z 7252：2019(GHSに基づく化学品の分類方法)に従っている。

ただし、区分3、区分4相当の引火点を有するが、燃焼持続性のないインクの場合は、「区分外」と判定した。

引用文献

- 労働安全衛生法 管理濃度
- 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- 米国 産業衛生専門家会議(ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- 世界保健機構(WHO) 国際がん研究機関(IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

略語

- 化審法: 化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- 安衛法: 労働安全衛生法
- 化学物質排出把握管理促進法(化管法): 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (化学品の分類及び表示に関する世界調和システム)
- ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values (米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値)
- TWA: Time Weighted Average (時間加重平均)
- STEL: Short Term Exposure Limit (短時間暴露限界値)
- IARC: International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)
- JIS: Japanese Industrial Standards (日本工業規格)
- CBI: Confidential Business Information (営業秘密)

本SDSは、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成したものであり、今後、新しい知見に基づき改訂する場合があります。

尚、SDS中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。

本SDSは、その記載内容を保証するものではありません。